

Title	タイ人日本語学習者による複合動詞「〜きる」の誤用について
Sub Title	On the Japanese compound verb of '-kiru' misused by Thai students of the Japanese language
Author	Wilailuck, Tangsirithongchai
Publisher	慶應義塾大学藝文学会
Publication year	1998
Jtitle	藝文研究 (The geibun-kenkyu : journal of arts and letters). Vol.74, (1998. 6) ,p.155(204)- 166(193)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00072643-00740001-0166

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

タイ人日本語学習者による複合動詞 「～きる」の誤用について

ウィライラック タンシリトンチャイ

1 はじめに

日本語には様々な複合動詞が存在する。複合動詞とは最小2つの実質的形態素の動詞が結合して、あるいは頭部形態素としての名詞に後部形態素の動詞が結合して、1つの動詞として文法的性質をもつものである。(以下、頭部形態素を形成する動詞を前項動詞と呼び、後部形態素を形成する動詞を後項動詞と呼ぶことにする。) その中には外国人学習者にとっても用法や意味が明快なものもあれば、複雑で理解しにくいものもある。例えば、「話し合う」、「言い忘れる」などといった複合動詞は意味や用法が理解できなくて誤用してしまう可能性が比較的低いのに対し、「～かける」、「～ぬく」、「～きる」などといった複合動詞は前項動詞によって全体の意味が異なるので学習する際に理解がかなり困難なものである。このうち、「きる」は意味的多義性をもつ後項動詞として知られている。例えば、「裁ちきる」は「裁断する」という意味を表すが、「飲みきる」は「残さずに全部飲む」という意味を表す。また、「疲れきる」は「どうしようもないほど疲れる」という意味を表す。

発表者は1994年度の修士論文として、「～きる」に関する表現を研究し、その意味的多義性を次のように整理した。

1 本動詞の「きる」の意味を保つ場合

1.1 「切斷」の意を表す（具体的な事柄に関する場合）

例：布地を裁ちきる。

1.2 「終結」の意を表す（抽象的な事柄に関する場合）

例：彼女は親の反対を押し切って結婚することを決意した。

2 本動詞の「きる」の意味を保たない場合（補助動詞の「きる」）

2.1 「完遂」の意を表す

例：食べきれないほどの御馳走だ。

足音をしのばせ、階段を降りきった。

2.2 「極度」の意を表す

例：伸びきったゴムはもう使えない

大地震によって家も仕事もなくし、彼は困りきった顔をしている。

表 1

「～きる」の複合動詞	自動詞か他動詞か	複合動詞の意味
1 ～を～きる 金庫の扉を焼ききる 難局を乗り切る	他＋きる = 他 自＋きる = 他	切断 終結
2 ～が～きる 学生が走りきる ～を～きる 小説を読みきる	自＋きる = 自 他＋きる = 他	完遂
3 ～が～きる 手足が冷えきる ～を～きる 相手をなめきる	自＋きる = 自 他＋きる = 他	極度

なお、鈴木重幸「日本語動詞のすがた（アスペクト）について」によれば、複合動詞「～きる」の内、否定形として「～きらない」の形はとらずに、「～きれない」の形で用いられる語は非常に多い。これは他の後項動詞にはみられない特徴である。この点に注目すると、「～きる」もまた、可能のニュアンスをもつ語であると言える。この考え方は可能動詞の中に「～かねる」、「～得る」を含めるとする解釈に通じるものである。

このように「～きる」は前項動詞によって全体の意味が異なってしまう

複合動詞であることが明らかである。こういった特徴を持つ「～きる」に関してタイ人学習者はどのように理解するのか、またどの部分が問題となるのかという疑問を抱いたのが本研究のきっかけである。

2 研究目的

本研究は以下のことを目的としている。

1 タイ人学習者は上述した「～きる」の意味的多義性や用法に対してどのように理解し、またそれらの表現をどのように訳すかを調べる。つまり、「v+v」の形をとる「～きる」に対して、対応するタイ語表現ではどんな形をとるのかを考察する。

2 タイ人学習者が「～きる」の表現を学習する際に、何が理解を妨げ誤用を引き起こす原因となるのかを調べる。

3 2をふまえて日本語教育において、どのような点に注意し指導すればよいか、指導上の留意点を検討する。

3 研究方法

本研究では検討方法として、タイ人学習者66人を対象とするアンケート調査を行った。調査の対象は性別にこだわらず、次のように2つのグループに分けた。

A タイで日本語を500時間以上学習したタイ人日本語学習者50人。すなわち、中級あるいは上級日本語コースを修了したレベル。その理由は中級あるいは上級クラスの学生でないと、「～きる」の表現が理解できないと考えられるからである。(男12人、女38人)

B 日本に在住しているタイ人学習者で、中級あるいは上級日本語コースを修了している者。16人 (男2人、女14人)

注：Bグループの学習時間を示さないのは各人によって学習時間が異なるためであるが、日本の大学で講義や授業を聞くための日本語能力は日本語能力試験や入学試験などの形で証明されている。

4 研究調査の結果

1 「～きる」の表現の用法や意味理解を観察するために、以下の日本語の文章を見せて、下線のある部分をタイ語に訳すようそれぞれのグループに解答してもらった。アンケート調査に用いた文章はよく耳にする日常日本語や小説または教科書などの文献から引用したものである。

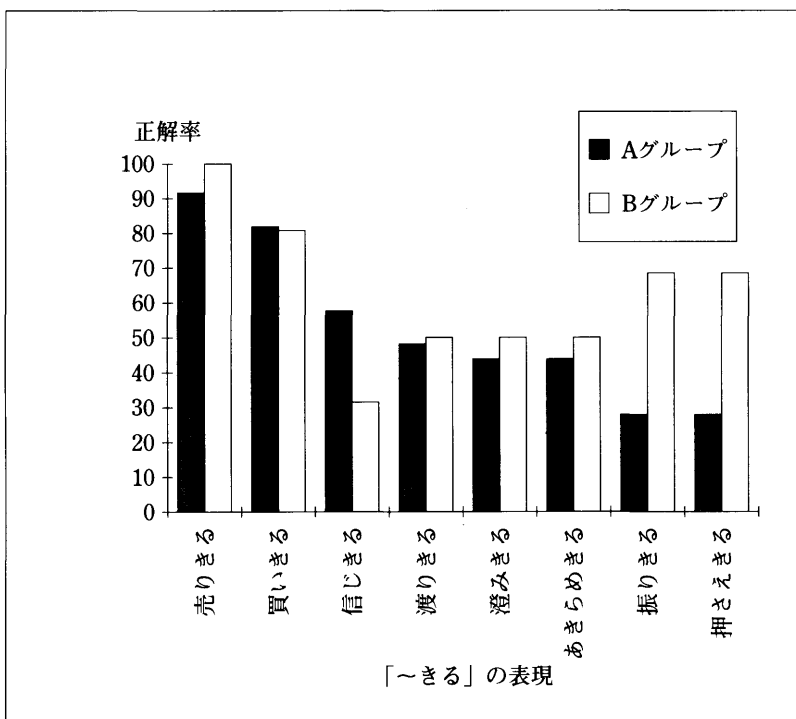
日本語の表現	タイ語の表現	解答人数	
1 この鉄橋を列車がどのくらいの時間で <u>渡りきる</u> か計ってごらん。	khaam (渡る)	A6	B1
	khaam set (渡り終わる)	A3	
	khaam phaen (渡って通る)	A14	B5
	khaam phon (渡って越える)	A2	B6
	khaam mot/sut (全部/最後まで渡る)	A8	B2
	win phaen (走り通る)	A6	B2
	dəən khaam (歩いて渡る)	A2	
	無解答	A7	
2 この島をある会社が <u>買い</u> いきて*大レジヤ-ランドを作る計画があると聞いた。	suu (買う)	A4	B2
	suu wai (買っておく)	A1	
	suu mot/khaat (全部買う)	A33	B13
	khaai thig (売り払う)	A1	
	khaai mot (全部売る)	A2	
	sam rɔɔŋ (余分にとっておく)		B1
	tat sin cai suu (買うことに決める)	A1	
	無解答	A3	
注：*「買いしめる」という言い方の方が一般的であるが、ここでは「買いきる」というかたちで聞いてみた。なお、他の表現に関しても日本人から見ると、一般的でないものも混じっているかもしれない。			
3 困難も慣れてしまえば、しまいには何でもなくなるものだと、彼は <u>信じ</u> きっていた。	chua (信じる)	A2	B5
	chua cai (信用する)	A1	
	chua man (確信する)	A10	B5
	chua sanit/mot(cai) (全部信じる)	A20	B5
	chua nomnai (盲信的に信じる)	A3	
	chua maa talɔt (ずっと信じている)	A1	

	man cai (自信を持つ)	A1	
	tat cai (あきらめる)	A1	
	mai chua (信じない)	A1	
	無解答	A9	B1
4 秋はいいね。澄みきった青空, さわやかな月と星, そして, 澄みとおった虫の声。	sai (澄む, 透き通る)	A6	B1
	sai cεεw (澄みきる)	A4	B5
	sai kracaŋ (澄み渡る)	A3	B1
	proŋ sai (透明である)	A8	B1
	cεεm sai (清々しい)	A6	B2
	sot sai (清々強い)	A2	B3
	sot chuun (爽やかである)	A1	
	ploot proŋ (晴れ渡る)	A6	B2
	sin sut (終わる)	A8	
	mai mii meek (雲がない)	A1	
	swaŋ sot sai (明るくて, 清々しい)	A1	B1
	無解答	A4	
5 来月の二日と三日, あきらめきれないながら, 葬式をすることに決めた。	ləək (やめる)	A1	
	ləək mai daai (やめられない)	A9	
	tat cai (諦める)	A2	
	tat khaat (手を切る)	A2	
	tat cai mai khaat/daai (あきらめきれない)	A19	B8
	tat sin caimai daai (決心できない)	A10	B1
	sia cai yaan thii sut (大変悲しい)		B1
	mai nεε cai (確信していない)	A1	
	mai plian cai (気が変わらない)	A1	B1
	mai yoo thoo (くじけない)		B1
	mai laa ɔɔk (辞退しない)		B1
	mai lom ləək khwaam taŋ cai (やめるつもりはない)		B1
	無解答	A5	B2
6 彼女への思いはとても抑えきれない。	pat thiŋ (拭い捨てる)	A1	
	kot khaat (押してきる)	A1	
	yut mai daai (止まらない)	A4	

	mai caan cuut (さめない)	A1	
	mai samaat ləək daai (やめられない)	A2	
	biip khan cit cai (心をしめつける)	A2	
	khuap khum mai daai (コントロールできない)	A6	B3
	tat cai mai daai (あきらめきれない)		B1
	khrop khlum mai mot (カバーしきれない)	A1	
	hak haam mai daai (押さえられない)		B8
	無解答	A35	B4
7	彼は上司らの説得を振りきって店を出たという。	pliik tua (先に失礼する)	A1
		chua sanit (信じきる)	A5
		lop liang (免れる)	A9
		tat cai (あきらめる)	A2
		patiseet (断る)	A6
		kam cat (処分する)	A7
		san khloɔn (揺れる)	A1
		tat ram khaan (面倒を避ける)	A2
		mai son cai	
		mai yai dii (無関心である)	A2
		məɔn chəɔi	B11
		無解答	A15
8	わずか2週間で初版の2万部を売りきった。	khaai khaat (売る*)	A2
		khaai mot (kliang) (全部売る)	A45
		無解答	B16
		*ある品物を売って、所有権が完全に相手のものになるというニュアンスの表現。	A3

以上のアンケート結果によれば、「抑えきる」、「振りきる」といった独特な表現を除いては、AグループもBグループも「～きる」の表現に対して同じような解釈のしかたをする傾向がみられる。すなわち、具体的な意味の場合には(例：売りきるなど)正しい意味理解をしているのである。しかし、それ以外の表現に関しては前項動詞の意味が分かるものの、

表 2



「きる」が付加されると全体の意味が分からなくなる。中には、「きる」を本動詞の意味として解釈する人や否定的な意味を表すと考える人がある。例えば、「信じきる」は「tat cai」（あきらめる）に、「澄みきる」は「sin sut」（終わる）に解釈された。

なお、「思いを押さえきる」、「説得を振りきる」といった表現に関しては、在日タイ人留学生の方が常に日本語を使用する環境に置かれているので、タイで日本語を習っている学生より適切な意味理解をしていると考えられる。

2 それぞれのグループに対して次のタイ語文章の下線のある部分をみて、どのような日本語の表現を思い浮かべるのかと聞いたところ、以下のような解答が得られた。なお、解答の中には、日本人からみれば意味内容

やニュアンスに差異を認めにくい場合もあるが、タイ人学習者の思い浮かべている概念が異なっていると考えられる場合には別々の解答として取り扱った。

アンケートに用いた文章は発表者自身の経験に基づいて考えたものあれば、小説や雑誌などから引用したものもある。

なお、どうしても解答が困難な人に対しては、選択肢を与えて、解答をしてもらった。

タイ語の表現		日本語の表現	解答人数	
1	khao chai kankrai <u>tat</u> kaankeen <u>khaat</u> (pen 2 thən) (彼ははさみでズボンを裁断した)	たちきった 切った 切ってしまった	A20 A15 A15	B8 B5 B2
2	khao <u>tat</u> cai caak khon rak kao <u>mai</u> <u>khaat</u> (彼は前の恋人のことをあきらめきれない)	あきらめられない あきらめきれない あきらめない	A24 A22 A4	B7 B8 B8
3	chan chai weelaa 3 wan con <u>aan</u> naṅsuu lem nii <u>mot</u> lem (私は三日かかってやっとこの本を読み切った)	読んでしまった 全部読んだ 読みきった	A17 A8 A25	B1 B9 B5
4	khao campen toy <u>chai</u> ṅən camnuan nii hai <u>mot</u> (彼はこの金を使いきる必要がある)	全部使う 使いきる 使ってしまう	A15 A22 A13	B5 B8 B2
5	naam thalee sai <u>ceew</u> (海は澄みきっている)	とてもきれいである 澄みきっている とても澄んでいる	A9 A16 A25	B4 B5 B6
6	aakaat naaw maak con muu thaaw <u>yen</u> chiap (寒さのため手足が冷えきっている)	とても冷たい とても冷えている 冷えきっている	A19 A17 A14	B4 B8 B3

語と同様、単純明快である上に、「v + v」という構造をもつために日本語に訳しやすいと考えられる。3の「aan mot」（読みきる）などの例が示しているように、両グループの多くの学習者が的確に「～きる」の表現を思い浮かべ用いた。

一方、「極度」の意味を表す表現に関してはタイ語では副詞、修飾語、形容詞句などを用いるので、日本語に訳すことになると、そのまま修飾語や形容詞句を用いる傾向にある。

いずれにしても、全体の解答を通じてみれば、アンケート1の場合と同様に、Bグループの方がAグループより日本語に馴染みがあるため「～きる」の表現を正確に使用している。

注：「終結」の意味を表す表現はタイ語の場合は使用場面や状況によって異なり一定の表現がないため、ここでは取り上げないことにした。

5 結論

以上の調査結果から次のような結論が得られる。

1 日本語の「～きる」とそれに対応するタイ語表現は1対多の意味的対応関係にあることが明らかである。つまり、日本語の「～きる」は同じ表現構造をもつように見えても、前項動詞によって「切断」、「終結」、「完遂」、「極度」というふうに意味が変わってしまう。換言すれば、「切断」という具体的な動作を表すものが「完遂」や「極度」の意味を表す場合では補助動詞的な働きをする。従って、それに対応するタイ語も様々な表現形式で使い分けなければいけないことになる。日本語と同じような表現構造をとる場合（v + v）もあれば、表現構造全体が全く変わる場合（副詞、形容詞句を用いるなど）もある。

前者の場合（例：売りきる、読みきる）は表現の混乱または誤用がそれほどみられないが、後者の場合（例：澄みきる、疲れきる）はかなり混乱や誤用が現れる。つまり、前項動詞に付加される「きる」が混乱を引き起こす原因なのである。これは後項動詞である「きる」がどの文脈に現れて

も本動詞としての意味が残存すると誤解してしまうからだと考えられる。そのほかに、タイ語には前項動詞、または使用場面や状況に応じた働きをする補助動詞がなく、副詞、形容詞句などを用いざるを得ない。そういった母語の干渉によって「～きる」の表現と対応するタイ語の表現が1対1の意味的対応関係にあると誤解して誤用を起こしてしまうわけである。

2 タイ人学習者に対する「～きる」の指導に当たっては、本稿で述べてきたように後項動詞としての「きる」がもつ様々な意味や働きがいかに重要であるか、十分に理解させることが大切である。また、対応するタイ語表現と比較し、理解を妨げるところを常に学習者に気づかせれば、学習上の問題も少なくなるであろう。

なお、今後の課題としては「～きる」と同様に「完遂」や「完了」を表す複合動詞「～おわる」、「～おえる」、「～ぬく」、「～とおす」などについても研究を続けていきたい。

最後に「～きる」の複合動詞の表現とタイ語表現の対応関係を表4にまとめておく。

表 4

～きる	切断	v + khaat
	終結	..
	完遂	v + mot v + khaat v + sut
	極度	v + temthii/sanit v + adv adj

参考文献

- [1] 佐久間鼎『現代日本語の表現と語法』恒星社厚生閣（1966）p.173
- [2] 金田一春彦「国語動詞の一分類」（『日本語動詞のアスペクト』）むぎ書房（1976）p.17
- [3] 姫野昌子「複合動詞「～きる」,「～ぬく」,「～とおす」」（『日本語校論集』7号）1980
- [4] 『外国人のための日本語 例文・問題シリーズ4 複合動詞』荒竹出版（1988）
- [5] 松田浩志『上級で学ぶ日本語ワークブック』研究社出版（1997）
- [6] 服部四郎『英語基礎語彙の研究』三省堂
- [7] Kingkarn Thepkanjana「SERIAL VERB CONSTRUCTIONS IN THAI」1986